

太陽活動の極小期におけるコロナホールと高速太陽風の解析

Coronal holes and high-speed solar wind during solar minimum

亘 慎一 [1]; 袴田 和幸 [2]

Shinichi Watari[1]; Kazuyuki Hakamada[2]

[1] 情通機構; [2] 中部大・工

[1] NICT; [2] Natural Sci. and Math., Chubu Univ.

近年、軟 X 線や極端紫外線によるコロナホール観測と太陽風の直接観測の長期間にわたる連続したデータが得られるようになってきた。これらのデータを用いて、太陽活動の極小期におけるコロナホールと高速太陽風の対応について解析を行った。その結果、太陽活動サイクル 22 およびサイクル 23 の極小期において、軟 X 線や極端紫外線の観測で赤道付近にはっきりしたコロナホールが観測されないにもかかわらず地球近傍で高速の太陽風が観測されることがしばしばあることがわかった。そこで太陽表面の磁場観測データをもとにソースサーフェスモデルによって計算された磁場構造と高速太陽風との比較を行ったので結果について報告する。